



安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学物質等の名称	N-エチルメタトルイジン
製品コード	EmT
会社名	株式会社 三星化学研究所
住所	京都市北区上賀茂北ノ原町 14 番地
担当部門	開発・技術部
電話番号	075-781-1177
緊急連絡電話番号	075-781-1177
FAX 番号	075-701-7227
推奨用途及び使用上の制限	色素原料、写真薬原料

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	
引火性液体	区分 4
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)	区分 4
環境有害性	
水生環境有害性(急性)	区分 3
水生環境有害性(長期間)	区分 3

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語
危険有害性情報警告
可燃性液体
飲み込むと有害
水生生物に有害
長期継続的影響によって水生生物に有害注意書き
安全対策

全ての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。
— 禁煙。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱後は手をよく洗うこと。

火災の場合：消火するために水噴霧、泡消火薬剤、粉末消火薬剤、
二酸化炭素等の消火剤を使用すること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。
飲みこんだ場合：気分が悪いときは、医師に連絡すること。
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。

廃棄
内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理

業者に依頼して廃棄すること。

3.組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

単一製品

化学名又は一般名

N-エチルメタトルイジン

別名

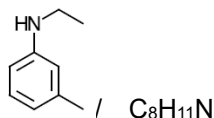
N-エチル-メタ-トルイジン (N-ethyl-m-toluidine)

ベンゼンアミン, N-エチル-3-メチル-

濃度又は濃度範囲

98.5%以上

化学式/示性式



CAS 番号

102-27-2

官報公示整理番号(化審法)

(3)-187 (N-アルキル (C = 1 ~ 4) トルイジン)

4.応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して
いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
目の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。

5.火災時の措置

消火剤

泡消火薬剤、粉末消火薬剤、二酸化炭素

使ってはならない消火剤

棒状注水、水噴霧

特有の危険有害性

熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。

火災時に刺激性あるいは有毒なヒュームやガスを放出する。

特有の消火方法

移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護

適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具
及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業者は適切な保護具(化学保護衣、空气中濃度に応じた有機ガ
ス及び蒸気用フィルター付きマスク等)を着用し、眼、皮膚への
接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流
出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法・機材

すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の
禁止)。

漏れた液やこぼれた液を密閉式の金属又はガラス容器にできる
限り集める。

残留液を砂又は不活性吸収剤に吸収させて安全な場所に移す。

この物質を環境中に放出してはならない。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応
じて保護具を着用する。

安全取扱い注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。
—禁煙。

取扱後はよく手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
呼吸用保護具を着用すること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
「10. 安定性及び反応性」を参照。

接触回避

保管

安全な保管条件

容器を密閉し、換気の良い涼しい場所で保管すること。
施錠して保管すること。
強酸化剤、食品や飼料から離しておく。
床面に沿って換気する。
排水管や下水管へのアクセスのない場で貯蔵する。
消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

安全な容器包装材料

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

未設定

許容濃度

日本産衛学会

未設定

ACGIH

未設定

設備対策

取り扱いの場所の近くに、洗眼及び身体洗浄剤のための設備を設ける。
高温下や、ミストが発生する場合は換気装置を使用する。

保護具

呼吸用保護具

着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/保護面を着用する。

皮膚及び身体への保護具

保護衣を着用する

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

液体 (20°C、1 気圧)

色

淡黄色ないし淡茶色の油状液体

臭い

刺激性、アニリン臭

融点・凝固点

情報なし

沸点又は初留点及び沸騰範囲

221°C

可燃性

有

爆発限界及び爆発上限界/可燃限界

情報なし

引火点

104°C(弊社データ、クリーブランド開放式)

自然発火温度

500°C (GESTIS, access on Mar. 2020)

分解温度

情報なし

pH

情報なし

動粘性率

情報なし

溶解度

0.47 g/L(25°C) (U.S.National Library of Medicine, access on

オクタノール／水分配係数	Mar. 2020)
蒸気圧	log Pow = 2.66 (推定値) 0.06 hPa(20℃), 0.71 hPa(50℃), 1.01 hPa(55℃) (GESTIS, access on Mar. 2020)
密度	0.94 g/cm ³ (GESTIS, access on Mar. 2020)
相対ガス密度(空気=1)	4.67 (空気 = 1) (GESTIS, access on Mar. 2020)
粒子特性	該当せず
10.安定性及び反応性	
反応性	「危険有害反応可能性」を参照。
化学的安定性	通常の手扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	加熱すると分解し、非常に有毒なヒューム(アニリン、窒素酸化物)を生じる。酸化剤と反応する。
避けるべき条件	裸火、高温、混触危険物質との接触
混触危険物質	酸化剤
危険有害な分解生成物	加熱すると分解し、非常に有毒なヒューム(アニリン、窒素酸化物)を生じる。
11.有害性情報	
急性毒性	
経口	ラットにおける LD50=580 mg/kg (RTECS(2000)), 787mg/kg(HSDB(2003))のうち毒性の強い方を採用し、区分4とした。
12.環境影響情報	
生態毒性	
水生環境有害性(急性)	魚類 (ファットヘッドミノー) の 96 時間 LC50=49500µg/L (AQUIRE、2003) から、区分3とした。
水生環境有害性(長期間)	慢性毒性データが得られていない。急速分解性がなく、急性毒性区分3であることから、区分3とした。
オゾン層への有害性	情報なし
13.廃棄上の注意	
残余廃棄物	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14.輸送上の注意	
国際規制	
国連番号	2754
国連品名	N-ETHYLTOLUIDINES
国連危険有害性クラス	6.1

海上規制情報
航空規制情報

IMO の規制に従う
ICAO/IATA の規制に従う。

国内規制

海上規制情報
航空規制情報
陸上規制情報

船舶安全法の規定に従う。
航空法の規定に従う。
消防法の規定に従う。
毒劇法の規制に従う
消防法の規定によるイエローカード携行の対象物
153

15.適用法令

毒物及び劇物取締法
消防法
船舶安全法
航空法
港則法

劇物（政令第2条第1項第6号）
第4類 第三石油類（非水溶性）
毒物類・毒物
毒物類・毒物
毒物類・毒物

16. その他の情報

参考文献

各情報ごとに記載

<記載内容について>

記載内容については現時点で入手した資料に基づいて作成しておりますが、記載のデータ及び評価については必ずしも十分ではありませんので、取扱いには注意してください。なお、注意事項については通常の見扱いを対象にしたものですので、特別な取扱いをする場合には、さらに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。